

やまがたLifeポジティブキャラバン ～山形の若者を照らす“幸せ”への道しるべ～



東根市立神町中学校



GUEST SPEAKER 講師

ヤマガタデザイン株式会社 代表取締役 山中 大介さん

Profile

1985年東京都生まれ。2014年に山形県庄内地方へ移住。全国にも展開可能な課題解決のモデルづくりを山形で実現しようとヤマガタデザイン株式会社を設立する。田んぼに浮かぶ木造ホテル「スイデンテラス」や子どもたちの夢を育む教育施設「キッズドームソライ」、有機農業のプラットフォーム「ヤマガタデザインアグリ」など、観光、教育、人材、農業の4つの視点からまちづくりに取り組んでいる。2022年日本新事業創出大賞経済産業大臣賞など受賞歴多数。

ROLE MODEL ロールモデル

まちづくりはきれいごとではない。
でも、地域の未来に希望はある。

ビジョンは「地方の希望であれ」

ヤマガタデザインを設立したのは9年前。ビジネスを始めるには不利と思われがちな地域で事業を立ち上げて「まちづくり」につなぐプロセスが地方の希望になればと、資本金10万円で起業しました。事業を行ううえでこだわっているのは自分たちが当事者になり、自分たちで価値を生みだしていくことです。地方における課題を悲観するのではなく、どうすれば変えていけるのか。そのために今やらなければいけないことはたくさんあります。

世界の中の日本、そして山形のこれから

今、地球規模で起きている問題は人口の増加です。日本と同じような暮らしを全世界の人がしようとするとうるさく地球3個分の資源が必要になり、環境破壊を招いてしまうでしょう。日本国内に目を向ければ人口減少が加速し、世界的な起業家であるイーロン・マスク氏がSNSで「日本は消滅する」と警告したことが話題となりました。そして、山形県の人口減少率は年に1%。これは100年後に県として存在しなくなってしまう計算になり、将来に向けて課題は山積しています。こうした問

題は全国の地方都市に共通すること。日本はこれからどのような地域づくりをしていくのかを真剣に考えていかなければなりません。

地域社会の課題を解決するのが「まちづくり」

「まちづくり」と言うときれいごとに聞こえてしまいますが、実はその定義は広く、地域や社会の課題解決につながる持続的な活動のことを言います。そうした課題に向き合う私たちの取り組みを紹介します。

【スイデンテラス】年間6万人の宿泊客が訪れる、田んぼの中に建てたホテル。

【キッズドームソライ】ワクワクする学びを提供する児童教育施設。

【ショウナイズカン】庄内の魅力的な「WORK」と「LIFE」の情報を発信するリクルートメディア。

そして、【有機農業】を切り口にした新しい農業への取り組みです。

切り口を変えれば農業は儲かる

有機農業の市場は、世界において拡大しつつあります。切り口を変えれば農業は儲かるのです。農産物はいつからか低

価格で売買することが求められるようになりました。その結果、生産者が我慢する構図に。この状況を打開するためには、より良いものを、より高く買ってもらえるようにすることが解決の糸口になると思っています。作業面において労働力不足の解消と収量の増加を目指し、全自動の除草ロボット（アイガモロボ）の開発にも力を入れています。

天の時 地の利 人の輪

山形での暮らしにはとても満足しています。自然あふれる場所で子育てができる喜びもあります。そして何より豊かな環境の中で、エキサイティングな仕事ができるというのはとても幸せなこと。常に自分のやりたいことや、やらなければいけないことへの思いを持ち、地域や社会が求めてきたときにできるよう準備しておくことがすごく重要だと考えています。

今、問題なのは、地域の未来に対して誰も希望を持っていないという状況です。庄内地方に住んでいても日本一の賞が取れる、そうした結果を残すことで、山形県に住む人たちが未来に希望を持ってもらえたらと思っています。

MESSAGE

メッセージ

未来を生きる中学生へ、 幸せに生きる3つの“≠（ノットイコール）”と“＝（イコール）”

学歴 ^{ノットイコール} ≠ 優秀 学歴は優秀じゃない

社会で活躍できる人は社会に出てからも勉強し続ける人です。AI技術が発達し、自動翻訳機に任せられる時代。今の学校の勉強を否定する訳ではありませんが、成績の大事な指標になる英語ができるからといって、将来ビジネスマンとして活躍できるかと言えば必ずしもそうではありません。常に学び続けようとする姿勢が大事です。

常識 ^{ノットイコール} ≠ 常識 常識は常識じゃない

大人が常識だということの裏側にこそ、可能性やチャンスが隠れている場合

があります。例えば、学校の校則を考えてみてください。自分の学校にはなぜそういう規則があるのか、いつ誰が決めたのかなどを考えたことはありますか？全国の校則を調べれば、おもしろい校則やすごく緩い学校があるかもしれません。決められた常識が実は常識ではないということを覚えておいてください。

お金 ^{ノットイコール} ≠ 目的 お金は目的じゃない

今後、変わっていくのは「お金」についての考え方です。金儲けだけを目的にしたビジネスや人生はどこかでつまずきます。そこに使命感がなければ意味はありません。お金は、何かを成し遂げるとき「手段」であり、目的ではないのです。

これからの時代、儲かることと、豊かで幸せな世界にはズレが生じてくるはず。そもそも、自分はどのような社会で生きていきたいのか、もう一度考えてみてください。ヤマガタデザインは自分たちが目指す社会の実現に向けてチャレンジし続けています。

イコール = 人生の主役は自分

「自分は何のために生まれてきたんだろう」と考えることがあるかもしれませんが。生まれたことは運命的で、でもそこに正直意味はないと私は思っています。人生の主役は自分、純粋に自分が幸せになるためだけにあるんです。そして、それは何かのために生きることと同義で

す。「人の間」と書いて人間と読むように、私たちはもともと社会的な生き物。人間のDNAは、人から感謝されたり、必要とされることに本質的な欲求を見出すようプログラミングされているのです。自分の幸せのために生きようと思えば思うほど、何かのために生きるという答えになる逆説的なジレンマに陥ってしまうのもそのため。生まれたからには何か(誰か)のために生きることを考えてみてください。

イコニク 徹底して夢中になる

何かのために生きると決めたのであれば、徹底して夢中になることが大事。生まれたことに意味付けしていくのは自分自身の行動に他なりません。この先どんな道に進もうと「この道で正しかったの

か」と誰しもが悩むはず。そうしたときに大切なのは「徹底して思い込み、夢中になる」こと。アップル社のスティーブ・ジョブズは「コネクティングドット(過去何かに没頭したことはいつか何かにつながる)」と

いう言葉を使って表現しました。ドット(点)は中途半端に生きている人には現れません。前に進むためには、小さなことも本気で夢中になってみる。この積み重ねが次のドットをつくり、人生を前に進めることにつながっていくのです。

イコニク 人生の可能性は無限大

私自身、成功したとは全く思っていません。失敗もあるし、まだまだ課題だら



け。事業経営のポイントは、どれだけより多くの価値を世の中に生み出していか。その貪欲さの違いによって、会社の成長や規模が変わってきます。もっと多くの人々を助け、価値を生む会社に育てたいと思っています。中学生のみなさんは10年経ったら立派な社会人。20年経てば若さを武器にした言動や行動は無価値になります。老いていくということを前提に、今日1日を一生懸命、生きていってください。

STUDENTS' VOICE

生徒たちの声

3年生

良い大学に入れば良い会社に入れると思っていたので、「学歴は優秀じゃない」という話は目から鱗でした。社会に出てからも勉強し続ける人が活躍できると聞き、感動しました。

2年生

人生の中で大切にしたいほうがいいことを知ることができました。地域や社会の問題を解決するたために考えてみたいと思いました。

1年生

お金は目的ではないことを知ったし、山形は魅力にあふれているので、自分のやりたいことが見つかるかもと思いました。

1年生

確かに山形は田舎かもしれませんが、それでも若い世代で山形を変えていけると知って、未来が楽しみになりました。

3年生

将来は、山形の魅力を全国に広める仕事に就きたいです。自分たちも社会の問題などの事実、ちゃんと目を向けていかなければいけないと思いました。

2年生

山形の好きなところは自然があふれていて、人が優しいところです。話を聞き、自分の人生をどう生きるか考えるきっかけになりました。

